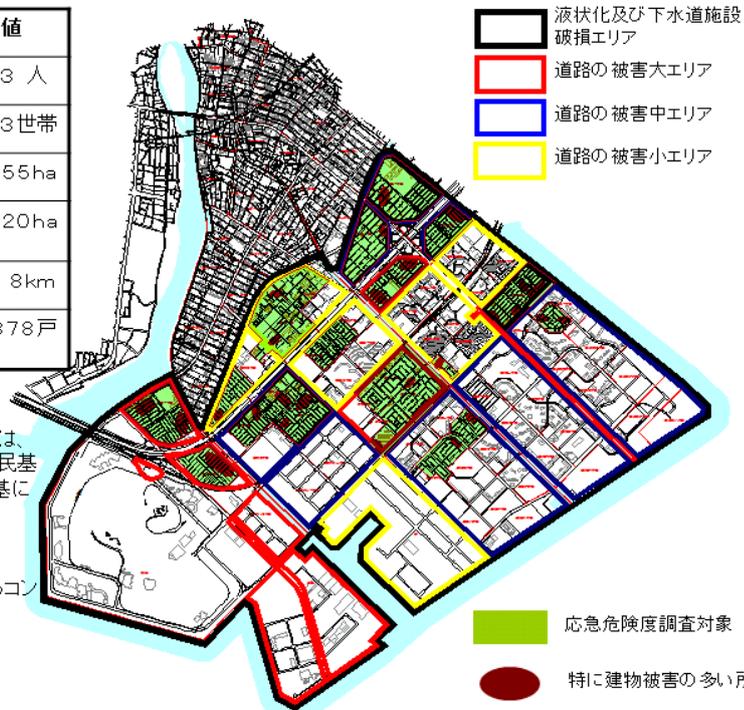


### 1-3 【 浦安市の被害の概要 】

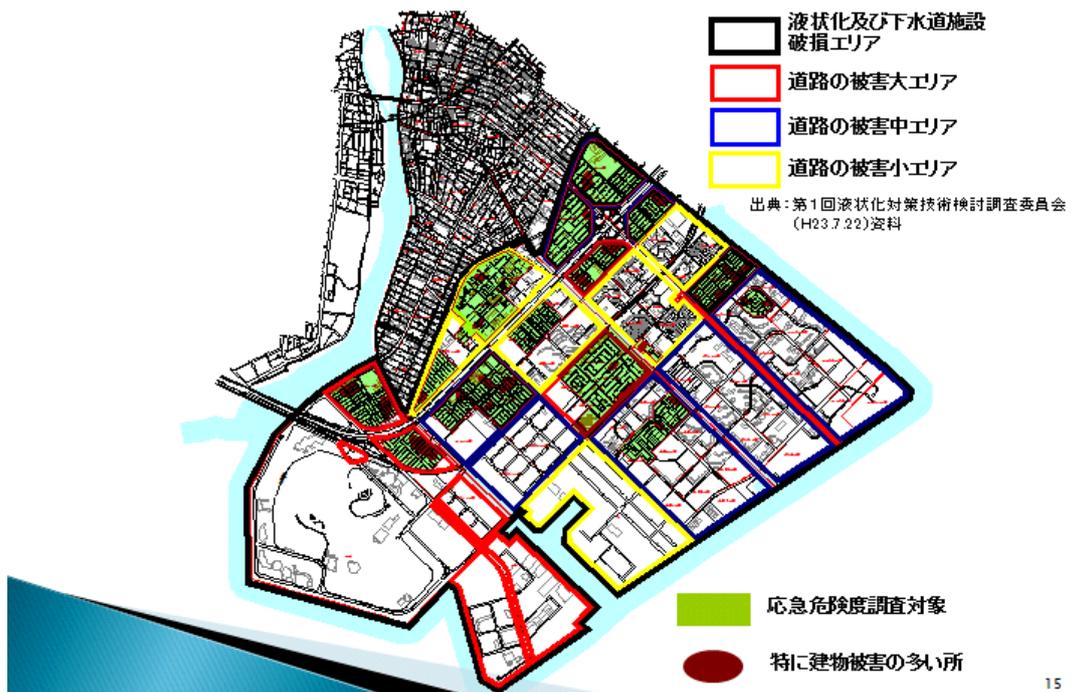
主な被害項目	数 値
被災者数※1	96,473 人
被災世帯数※1	37,023世帯
液状化面積※2	約1,455ha
下水道破損地区面積	約820ha
道路の被害延長	111.8km
応急危険度調査対象	8,878戸

※1  
被災者数及び被災者世帯数は、平成23年2月28日現在の住民基本台帳と外国人登録台帳を基に算出した。

※2  
空中測量で作成した地図からコンピュータ処理により算出した。



#### ■道路の被害状況



## ■被害の様子



5



6



舞浜の傾くバス停



中央公園野球場脇の通路



千鳥地区の液状化



高洲地区の道路の様子

7



日の出地先護岸（墓地公園）



高洲中央公園（前農性貯水槽）



明海地区のせり上がったマンホール



明海地区のせり上がったマンホール

8



境川沿いの歩道



境川沿いの歩道



境川沿いの緑道



境川の護岸



日の出護岸



日の出護岸



日の出護岸



横出土砂仮置場

## 応急危険度判定調査と建物被害認定調査の結果

### ■ 応急危険度判定結果

被災度 大	8
被災度 中	470
被災度 小	501
被害なし	7,899
合計	8,878

#### 【被災度大】

立ち入ることが危険な建物で、立ち入る場合は専門家に相談し、応急措置を行う。

#### 【被災度中】

立ち入る場合、十分な注意が必要な建物。専門家への相談が必要

#### 【被災度小】

被災度が小さな建物

#### 【被害なし】

傾斜の度合いが低く、余震による倒壊の恐れが低い建物。

※平成23年3月31日現在応急危険度判定結果  
出典：第1回液状化対策技術検討調査委員会(H23.7.22)資料

### ■ 建物被害認定結果(新基準)

全壊	18
大規模半壊	1,548
半壊	2,159
一部損壊	5,222
被害なし	993
合計	9,940

#### 【全壊】

建て直しをしなければならない状態を言う

#### 【大規模半壊】

家屋などが半壊した状態のうち、大規模な補修を行わなければ居住・再利用が困難となった状態

#### 【半壊】

住家の損壊が甚だしいが補修すれば元通り使用できるものを言う

#### 【一部損壊】

全壊、半壊に至らない程度の住家の破損で補修を必要とする程度のを言う

※平成23年11月11日現在の調査物棟数(非住家を含み、市全体のもの)

※傾斜の再調査(第1次再調査)や2次調査により、今後、総および内訳が変更になる可能性がある

31

## 被害想定見込み額

### ■ 発災時における被害想定見込み額

区分		施設名	施設数	概算被害額(円)
公共土木施設 災害復旧	道路・橋りょう	—	28	約296億3900万
	下水道	下水道事業	13	約268億4000万
		雨水排水(都市災害)	13	約145億9400万
	公園	公園、緑道、球技場など	81	約22億7000万
合計				約734億円

### ■ 発災後の応急復旧に関わる経費

(※平成23年9月末現在の支出済額)

区分	支出額(円)
公共土木施設	23億6,500万
公立学校施設	2億5,900万
社会福祉施設	2,300万
社会教育施設	4,900万
消防施設	700万
自治会集会所などのそのほかの施設	8,400万
合計	約28億円

出典：「広報うらやす震災復興特集号」(H23.9.20)より 38